

地震から子どもを守る防災セミナー 概要

2011年3月に起こった東日本大震災では、非常に多くの方が地震や津波の被害に遭われ、長期にわたり避難所や仮設住宅での生活を強いられています。過去に起こった震災と同様、この震災でも幼いお子さんのいるご家族は衛生環境の悪化、オムツやミルクの不足等予期せぬ状況下で苦しい思いをされました。

だっことおんぶの研究所では、2010年度より東海地震が懸念される静岡県内を中心に子育て世帯を対象とした防災セミナーを行っており、行政や企業等各方面からのセミナー開催申し込みもきています。

また、今回の地震の後には参加者の方から「受講しておいて本当によかった」との声が寄せられました。

社会的背景	東日本大震災や阪神大震災などの過去の災害で、災害弱者に分類される乳幼児を抱える家庭は、災害時や避難生活で多くの困難を強いられた。日本は3つのプレートの上に位置し世界でも有数の地震大国である。いっどこで起きるかもしれない地震に対し、幼い子どもがいる家庭で備えと心構えをしておき、生き延びる知恵を知っておくことは被害を最小限におさえるために必須である。
実施目的	乳幼児とその親を対象に防災の情報や備えの具体的な方法を伝え、防災への意識を高めてもらう。生き延びるため必要なことを学んでもらう。
期待される効果	最低限の備え、災害時の円滑な避難や救助等の技術の取得、その後の生活への順応力の強化による被害拡大防止。災害時を想定することを通じて地域社会への参画のきっかけを得る。毎日の子育てにも役立つ防災の知恵を提供することにより、実践しやすくかつ持続的な防災意識の向上。
対象者	妊娠中～就学前のお子さんとその家族
内容	最先端のアウトドアノウハウを利用した命を守るための危機管理能力の取得方法の伝授と必要最小限な道具の紹介、介護にも使える力のいらぬ古武術を使った救出法、子どもを連れて逃げる為のだっこやおんぶの知恵、簡易オムツの作り方等の解説
過去の実施状況	静岡県補助事業として総勢約300組のご家族に対し実施（2010年度）他
参加者の感想	<ul style="list-style-type: none">・持ち物を見直して揃えられるものは常に持って行動しようと思いました。・身近なものを使ったリアルで生活感のある話ばかりで参考になりました。ぜひたくさんの人に聞いてほしいです。・いつまでもいいように、モノだけでなく気持ちの面の訓練もしていきたいです。3月11日から不安になっていましたが少し変わった気がします。・子ども二人を連れて逃げるのには漠然とした不安がありましたが、おんぶやだっこの方法を知り身近なものでも役に立つことが分かってよかったです。・正しい知識をもっているという事が心の安定にも、一瞬の判断にもつながると思いました。・たくさんの情報がある中、本当に必要なものが何なのかがよく分かりました。・このセミナーを聞かなかったら逃げ遅れていただろうし身を守れなかったと思う。普段から意識して災害に備えておくことが大事なんだと実感しました。・妻に言われるがまま全く期待せずに参加しましたが、知らなかったことばかりでとても役立つ情報でした。参加して本当によかったです。

NPO 法人だっことおんぶの研究所 <http://www.babywearinglabo.com>

Tel : 054-653-6777 / E-mail : info@babywearinglabo.com

過去の防災セミナーの様子がご覧いただけます → <http://ameblo.jp/babywearing/entry-10847823819.html>